

の電子決済で支払いが簡単にでき、都市部だけでなく、農村でも商品が届く利便性が支持されてきました。さらに、中国では商品の品質や安全性がしばしば問題視される中で、日本製商品や日系メーカー製商品の人気はかなり高いです。世界中からあらゆる商品が簡単に手に入る品ぞろえの豊富さに加え、低価格も後押ししました。旺盛な消費力をもつコンシューマーとして注目を集めるのはよいとしても、中国自身が抱える商品の品質・安全性問題を根本的に解決しなければ、国際社会において信頼できるサプライヤーとしての地位を得ることはできないように思います。

日本企業もこの商機を見逃すことなく、各社は渾身の術を出し切ってこの安売り合戦に参入しています。日本各社はこのセールで通常より大幅な値引き額で販売しています。「この日は利益ではなく、知名度を上げる広告に近い」(日本大手菓子メーカー担当者)日と見ているようです。取引が集中するこの日に多くの人に買ってもらえれば、口コミによるさらなる顧客増加の見込みや入手した大量の購買データをその後のマーケティングに生かせるチャンスになるとメーカー側は読んでいるようです。日本企業の参入を後押しする要因の一つは、中国を代表するEC大手のアリババグループや京東集団が推進しているオンライン(EC)とオフライン(実店舗)の融合をめざすo2o(Online to Offline)戦略が挙げられます。すなわち、ネットとリアル店舗を融合させた「新零售(シンレイシュ)」(ニューリテール)戦略です。日本各社はこの融合戦略に着目し、ネット通販を通じて、日本の商品を継続購入させるのみならず、中国へ進出して現地生産している自社商品の現地購入増も狙っています。実際、中国でも有名になったファーストリテイリングの「ユニクロ」(中国名: 优衣库<ユイク>)は以前から同セールにかなりの精力を注ぎ、知名度を一気に上げました。知名度の向上が全体の業績を押し上げる好循環につながりました。

ファーストリテイリング、カネボウ、ユニ・チャームなどの勝ち組と対照で、売り込み手法や中国市場の複雑性に十分対応しきれず、中国の小売市場からの撤退を余儀なくされる企業もあります。ハニーズホールディングは中国進出から12年目の今年6月末、中国から撤退し10億円強の特別損失を計上すると発表しました。百貨店を中心に开店してきた同社は、中国消費者の消費行動の多様性に対応しきれず、ショッピングセンター(SC)开店費用の高騰や人件費の上昇も足枷となりました。また、若者を中心に、家賃や人件費がそれほど掛からないネットショッピングへの移行も、価格競争で勝ち目はなくなりました。同社も「独身の日」へ参戦してきましたが、その後の正価での販売は一向に売れません。日本の場合は、売れ残りも半値にすれば最終的に売れますが、中国ではなかなか売れません。他にもいくらでも安いものがあるからです。これはいわゆる中国市場の多様性というもので、一国内に日本市場、韓国市場、ベトナム市場、カンボジア市場が同時に存在するような重層的な構造的特徴をもっているということです。

気になるのは「祭りのあと」の消費動向です。今、中国のSNSなどの交流サイト上では「土を食べる(吃土<チトウ>)」は流行語の一つになっているようです。必要以上の消費(浪費)がたたって食事もままならない状態を表します。貯め込んだお金を「独身の日」に吐き出し、再びお金を貯めて次のセールを待つという循環になってしまいます。需要の先食いとその後の買い控えは中国消費の先行きの見通しを難しくしてしまいそうです。

「11.11」が終わっても、「12.25」(クリスマス)や「2.5」(春節<旧正月>)の商戦が続きます。中国消費動向を見極めるには、祭りの結果よりも、その後に「土を食む人」が増えないかに注目していきたいものです。

>>次号は、広島経済大学 経済学部メディアビジネス学科 准教授 3 学期「広告デザイン基礎」講師の宮地英和先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

広田先生おすすめの一冊です。



Global Value Chain Development Report 2017

—Measuring and Analyzing the Impact of GVCs on Economic Development (WTO /2017)

The report provides an overview of the importance of the GVC phenomenon, drawing on the latest research and statistics to reveal the changing nature of international trade. It analyzes the factors that determine how deeply a country participates in GVCs and how countries can maximize the benefits that GVCs bring.

この報告書は、国際貿易の変化とその構造的特徴を明らかにする最新の研究と統計資料を取り上げ、国際価値連鎖(GVC)が形成される重要性について総括したものです。また、国民経済が GVC にどれだけ深く関与しているのか、GVC がもたらす利益を最大化するための決定要因について分析を行っています。

◇2018 年度 3 学期 開講科目のご案内◇

3 学期講座の申込締切は 12 月 28 日(金)となっております。

※科目名からシラバスを閲覧できます。

【新規科目】■「広告デザイン基礎」

講師:メディアビジネス学科 准教授 宮地英和

伝えるためのデザインに必要な発想法やテクニックについて学び、演習では実際に広告デザイン制作を体験していただきます。(各自 PC をご持参ください)

★平成 31 年 1 月 21 日(月)開始(毎週月曜全 6 回)

■「マーケティング演習」

講師:経営学科 教授 細井謙一

マーケティングのポイントである「考え方」を「会得」することを目標に、グループワークを通じて実際にマーケティングプランを立案します。

★平成 31 年 1 月 21 日(月)開始(毎週月曜全 6 回)

【新規科目】■「経済学の基本」

講師:経済学科 教授 新垣繁秀

経済学の基本的な内容を展開します。「経済学は選択の学問」と言われます。それを踏まえながら様々な経済問題を考えていきます。

★平成 31 年 1 月 22 日(火)開始(毎週火曜日全 6 回)

【新規科目】■「中級 法人税」

講師:経済学科 教授 一橋 信之

日々の仕事や経営に役立つ法人税を知りたいと思っている人のためのワンランクアップ講座です。標準的な法人税の申告書や一般的な節税方法を学びます。

★平成 31 年 1 月 22 日(火)開始(毎週火曜日全 6 回)

【新規科目】■「人材マネジメントの基礎」

講師:経営学科 助教 宮辻 渉

経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)の中でもヒトは他の経営資源と異なる性質を持っています。本講座では、ヒトのマネジメントの理論に関する理解と実践での活用を目指します。

★平成 31 年 1 月 16 日(水)開始(毎週水曜全 6 回)※1 月 23 日(水)は休講です。

【新規科目】■「実戦的広告戦略立案の応用」

講師:メディアビジネス学科 教授 北野尚人

広告やプロモーションに関するセンスは人生を豊かにしてくれるかもしれないと思う人を対象に、演習を中心にした授業で広告の応用の仕方について学んでいきます。

★平成 31 年 1 月 16 日(水)開始(毎週水曜全 6 回)※1 月 23 日(水)は休講です。

【新規科目】■「実践英語プレゼンテーション」

講師:教養教育部 講師 森谷浩士

受講者各自が自身の興味に合わせてプレゼンテーションを計画し、その内容を英語で発表します。初級程度の英語力(またはそれ以上)をお持ちの方を対象にしています。

★平成 31 年 1 月 17 日(木)開始(毎週木曜全 6 回)

【新規科目】■「ビジネスに活用 実践データ分析」

講師:メディアビジネス学科 准教授 貫名貴洋

ビジネスで求められる、データの正確な読み取りや仮設の検証、高度な統計分析手法を扱います。Excel の操作を基本としますが、状況に応じて高度な統計ソフトを扱う可能性もあります。

(各自 PC をご持参ください。)

★平成 31 年 1 月 17 日(木)開始(毎週木曜全 6 回)

【新規科目】■「[身近な租税法の基礎知識 所得税・消費税・相続税](#)」

講師：教養教育部 教授 餅川正雄

租税法の構造とその計算の仕組みについて、所得税法、消費税法、相続税法の 3 つを取り上げて、その原理・原則と計算の流れを解説します。

★平成 31 年 1 月 18 日(金)開始(毎週金曜全 6 回)

【新規科目】■「[コーポレート・ファイナンス応用](#)」

講師：経済学科 教授 重本洋一

企業の資金調達や投資活動は企業価値にどんな影響を与えるのか、理論に基づいて解説します。特に企業の資金調達、配当政策、企業価値評価に焦点を当てて解説します。

★平成 31 年 1 月 18 日(金)開始(毎週金曜全 6 回)

2 学期 カルチャー講座

■「[多様なアメリカの姿 2～あなたの知らないアメリカ\(と日本\)](#)」

講師：田中泉、森瑞樹、ジョージ・R・ハラダ、本岡亜沙子、山本貴裕

多様性に満ちたアメリカの、あるいは同国と日本の関係について、移民史・演劇・法律・文学・宗教史の分野を専門とする講師がそれぞれの切り口で語ります。

★平成 31 年 1 月 16 日(水)開始(毎週水曜全 6 回)※1 月 23 日(水)は休講です。

◎事務局から◎

3 学期の受講生を募集しております。

講座の詳細、お申し込みについては次の URL からご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元：広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)